



懸 かけはし 橋

# ぎかいだより



100歳を迎えられ、ますます元気な吉田サナさん（豊栄）

- ◆ 平成25年度各会計の決算を認定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～6ページ
- ◆ 津波避難タワー建設費計上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～8ページ
- ◆ 町政を問う（一般質問：5人）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～15ページ
- ◆ 議会広報編集調査特別委員会活動報告・・・・・・・・・・・・・・ 16ページ

## 第3回 定例会

# 平成25年度各会計の

# 決算を認定

今定例会では、平成25年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算認定について、監査委員の意見書を添えて提案されました。議会では決算特別委員会を設置し、予算が適正に執行され、目的を達成できたかを主眼に慎重に審議しました。

### 総括

平成25年度の歳出決算額は、一般会計、8特別会計、病院事業会計合わせて17億3,820万円となりました。

前年度の決算と比べ、歳出で7億6,877万円の減となり、2億8,645万円が平成26年度会計へ繰り越されました。

### 一般会計（歳入）

歳入は、前年度決算と比べ7億2,862万円減額となりました。内訳は、町税や使用料などの自主財源は前年比2.9%減の31億5,955万円、また国や県からの補助金や地方交付税、借入金である町債などの依存財源が同8.2%減の71億2,777万円となりました。

### 一般会計（歳出）

歳出は、前年度決算と比べ6億7,802万円減額となりました。内訳は、義務的経費では人件費が前年比5.0%減少しましたが、扶助費が同5.5%、公債費が同6.8%とそれぞれ増加し、総額では2.8%増の43億6,788万円となりました。

また投資的経費では前年比38.0%減の13億7,864万円となり、その他の経費では1.1%増の43億3,015万円となりました。



耐震補強された分庁舎



更新された下田第7分団（木崎）の消防ポンプ自動車

## 監査意見

町監査委員から決算審査、財政健全化審査及び経営健全化審査に関する意見書が提出されました。

### 【決算審査意見】

平成25年度の一般会計及び特別会計については、いずれも適正に処理されている。全体を総括して、地方債残高が減り基金残高が増えていることから、健全財政への努力が見て受け取れる。

しかし、今後も続くインフラ整備や福祉など高レベルの行政サービスの維持、継続が求められるなか、引き続き震災復興への支援、投資が必要となることから、より一層の努力と成果を期待したい。

### 【財政健全化・経営健全化審査意見】

財政健全化判断の4項目の指標については特に指摘すべき事項はなく、また病院事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の各会計は、資金不足比率としての数値は出ず、良好な状況にあると認められる。

## 平成25年度健全化判断比率

健全化判断比率	健全化基準値	備考	指標の説明
実質赤字比率	—	黒字比率 1.67%	一般会計等の赤字の大きさ。
連結実質赤字比率	—	黒字比率15.08%	町の会計全体での赤字の大きさ。
実質公債費比率	13.7%	基準値以内	借入金返済の負担の大きさ。
将来負担比率	59.2%	基準値以内	将来負担すべき負債の大きさ。



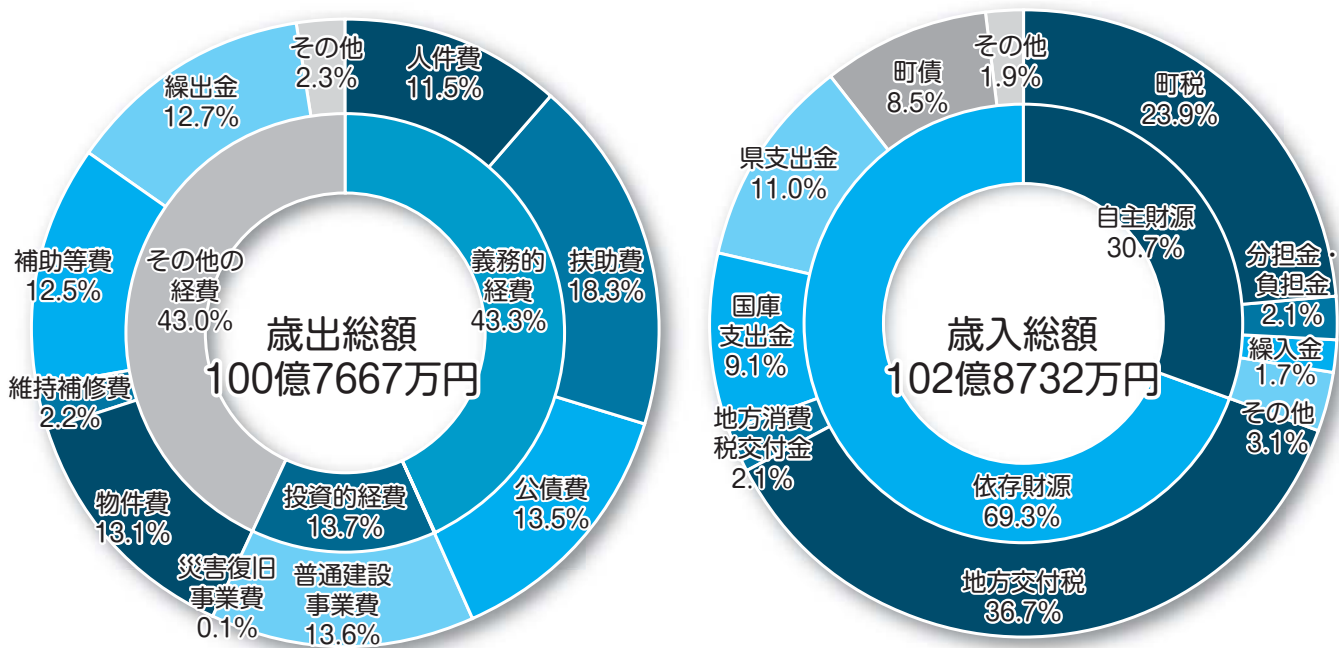
審査結果を発表する名古屋代表監査委員

平成25年度決算

# 一般会計・特別会計、健全財政を維持

一般会計100億7667万円、歳出総額は前年比6.3%の減

## <一般会計決算の内訳>



## 平成25年度 各会計の歳入歳出決算状況

会計別	収入済額	支出済額	差引残額	
一般会計	102億8732万円	100億7667万円	2億1065万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	27億9678万円	27億4979万円	4699万円
	奨学資金貸付事業特別会計	1601万円	1586万円	15万円
	公共下水道事業特別会計	10億5131万円	10億4435万円	697万円
	農業集落排水事業特別会計	1億1608万円	1億1427万円	181万円
	介護保険特別会計	20億1874万円	19億8783万円	3091万円
	公共用地取得事業特別会計	4532万円	4511万円	21万円
	後期高齢者医療特別会計	1億5147万円	1億5078万円	68万円
	計	61億9569万円	61億0799万円	8771万円
(公営企業会計)病院事業会計	9億4163万円	9億5354万円	▲1190万円	
収益的収入及び支出	9億6万円	8億8864万円	1143万円	
資本的収入及び支出	4157万円	6490万円	▲2333万円	
総計	174億2465万円	171億3820万円	2億8645万円	

※ 病院事業会計の不足分は、損益勘定留保資金で補てんします。

※ 数値は、各会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。

# 決算特別委員会 — 主な質疑 —



決算特別委員会による審査結果を報告する柏崎利信委員長

## 一般会計

**平野委員** (町税の) 2億5千万円という滞納額を考えると専従職員を配置し、滞納額や保育料等の未納金を減らした方がいいのではないかと、納めなければ町全体が立ち行かなくなるということをPRしたほうがいい。

**税務課長** 滞納整理は専門的な知識が必要なので、他の自治体では銀行OB、自治体OB等を任期付きで採用しているケースがあり、専門的に滞納整理ができる体制を整えていくことも検討していきたい。

**平野委員** 納税貯蓄組合関係の補助金はいつまでにゼロになるのか聞かせてほしい。

**税務課長** 補助金等評価委員会で減額、将来は廃止ということ、平成24年度から平成26年度までの3か年で減額してきている。

**平野委員** 社会福祉協議会の使途不明金について、退職者

**平野委員** 社会福祉協議会の使途不明金について、退職者

**平野委員** 社会福祉協議会の使途不明金について、退職者

**平野委員** 社会福祉協議会の使途不明金について、退職者

**平野委員** 社会福祉協議会の使途不明金について、退職者

助金については人数割があり、加入人数が減ることにより少なくなっている。

**榎山委員** 太陽光発電システム設置に対する補助は町のPRになっていったと思う。引き続き補助する考えはないか。

**企画財政課長** 工事費や太陽光パネルの価格が下がったので補助制度をやめており、状況が変われば検討したい。

**平野委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

を含む事務職員7人が補てんとすると報道されていたが、その一人当たりの金額、最高額と最低額、そして強制力があるのか。

**介護福祉課長** 金額についてはプライバシーがあるので答えできない。

強制力の有無については、職員の負担は、全員が合意し、支払いが始まっている。役員についてもあくまで協力金ということをお願いしており、全員同意したと聞いている。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**社会教育・体育課長** 阿光坊古墳群は墳墓の復旧、園路の整備を重点に進めている。古墳15基の整備は今年度完了する。3か所の遺跡の古墳は総数100か所以上あるが、主に目立つ場所の古墳を再生し、3か所の遺跡に遊歩道をつけて散策しながら全体を見られるようにする。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**馬場委員** 今年度で終わる補助金を使って運営している「街なかサロンおいらせ屋」の来年以降の考え方について。

**平野委員** 学力テストの結果

9月11、12日の2日間、決算特別委員会(柏崎利信委員長)が開かれ、町の一般会計、特別会計歳入歳出の各決算の9認定議案を審査しました。各決算について、議員と町当局の間で活発な質疑・応答が行われ、その結果、9月12日の本会議ですれも認定すべきものと決定しました。

**介護福祉課長**

老人クラブ補

**平野委員** 社会福祉協議会の使途不明金について、退職者

**平野委員** 学力テストの結果

を公表する考えはないか。

**教育長** 学校ごとの公表をするつもりはないが、校長会・教頭会でおいらせ町の平均点は各学校に知らせている。

### 国民健康保険 特別会計

**馬場委員** 国保税の納付は8回となったが、12回に変更することは可能か。

**税務課長** 今年度8期に増やしたということ、実績をみながら、今後、12期に増やした場合にどのくらいの事務量が増えるのか、メリット・デメリットを考へ納税者のため研究してみたい。

### 奨学資金貸付事業 特別会計

**平野委員** 貸与者は38名、収入未済額が増えている。どのよつに減らすつもりか。

**学務課長** 7名が未納となつており、収入未済額が増えている。「自分は借りていない」、「親が借りた」といつ払う意

思のない方もいる。電話、戸別訪問等細かい対応をして、できる限り回収していく。

### 病院事業会計

**平野委員** 患者数が1233人減っている。入院は増えているが外来が減となつており、外来患者が減るといことは入院患者数の減少にもつながつていく。

昨年同時期と比較して、現在の状況を教えてほしい。

**病院事務長** 外来患者が減つているのは全国的な傾向であり、全国では平成20年と平成24年を比較した場合、1343万3千人減少している。

おいらせ病院の場合は、平成25年度156・6人、平成24年度161・9人と、1日平均5・3人減っている。

### 滞納総額は

平成25年度末の滞納総額は、7億998万円です。平成24年度末に比べて、791万円少なくなっていますが、その多くは不納欠損（注）によるものです。

長引く景気低迷で、収入の落ち込みなどにより厳しい行政運営が強いられる中、町民負担の公平・公正を図る観点からも、未収金対策については議会としても注視していきます。

#### （注）不納欠損とは

滞納者が破産、死亡、行方不明などにより滞納分の税金などが徴収できなくなった場合、その金額を消滅させること。

## 【町税等未収金の状況】

区分	平成25年度末	平成24年度末	増減額	不納欠損額
町税	2億5442万円	2億7142万円	▲1700万円	2578万円
学校給食費	905万円	825万円	80万円	-
町営住宅使用料	1637万円	1714万円	▲77万円	-
保育料	677万円	908万円	▲231万円	5万円
督促手数料	307万円	337万円	▲30万円	34万円
国民健康保険税等	3億8668万円	3億7824万円	844万円	1993万円
奨学資金貸付金	214万円	190万円	24万円	-
下水道使用料等	1164万円	1059万円	105万円	38万円
農業集落排水使用料等	193万円	136万円	57万円	3万円
介護保険料等	1061万円	893万円	168万円	285万円
後期高齢者医療保険料等	101万円	64万円	37万円	6万円
病院医療費	629万円	697万円	▲68万円	-
合計	7億998万円	7億1790万円	▲791万円	4942万円

※数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。

## 町の貯金・借金は

町の貯金である基金は、一般会計と特別会計を合わせて21基金があり、残高は、前年度より1億7487万円増え、49億830万円となりました。

一方、一般会計では8億7050万円、特別会計全体では3億4630万円を借り入れましたが、繰上償還を実施したこともあり、町の借入金残高は、前年度より7億1千88万円減り、206億8千633万円となりました。

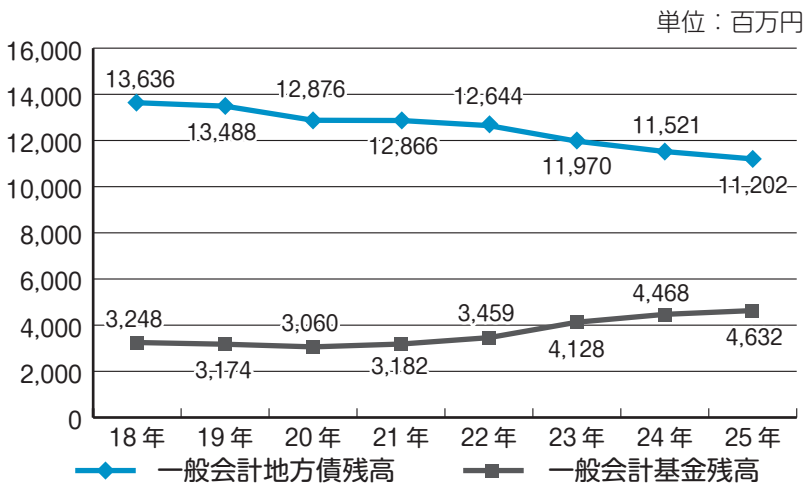
### 【基金残高（町の貯金）】

区分	平成25年度末	増減額
財政調整基金	15億6166万円	1億2341万円
減債基金	7億5580万円	▲3467万円
地域振興基金	12億3000万円	増減なし
東日本大震災復興推進基金	2億2104万円	▲3470万円
公共施設整備基金	3億1915万円	1億4491万円
その他基金（16基金）	8億2065万円	▲2408万円
合計	49億830万円	1億7487万円

### 【借入金残高（町の借金）】

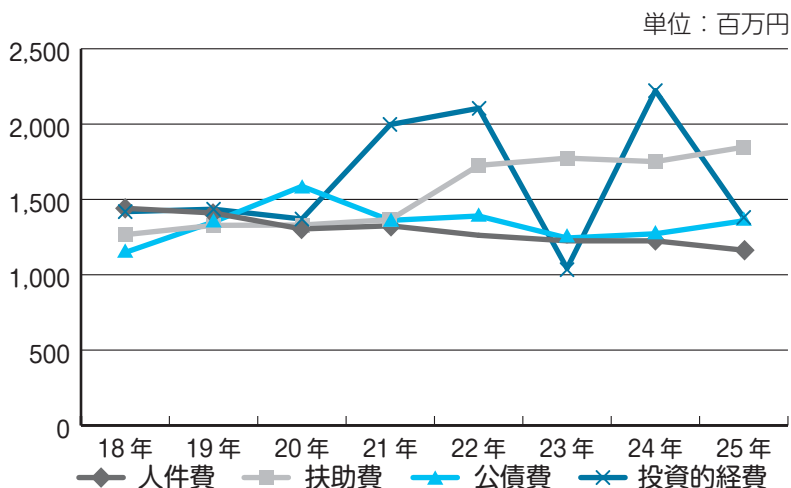
区分	平成25年度末	増減額
地方債（一般会計）	112億171万円	▲3億1899万円
公共下水道事業債	84億8335万円	▲3億739万円
農業集落排水事業債	7億8854万円	▲45414万円
財政安定化基金貸付金（介護保険特別会計）	2000万円	2000万円
公共用地取得事業債	6680万円	▲3500万円
病院事業債	1億2594万円	▲2436万円
合計	206億8633万円	▲7億1088万円

### 【一般会計基金及び町債年度末残高の推移】



左のグラフは、過去8年間の一般会計における地方債と基金の各残高の推移を表しています。監査委員の決算審査意見（2頁）のとおり、地方債残高が減り、基金残高が増えていることがわかります。

### 【一般会計 義務的経費及び投資的経費の推移】



また、下のグラフは過去8年間の義務的経費と投資的経費の推移を表しています。義務的経費（人件費・扶助費・公債費）は、支出が義務的で任意では削減できない経費をいいますが、人件費については、合併以降職員数の削減や職員給与の引き下げなどの実施で減少傾向にあります。

しかし、扶助費については、社会保障関係費の増大で増加傾向にあります。公債費については、平成20年度にピークを迎え、減少傾向にあります。投資的経費は、道路整備や公共施設の建設など、支出の効果が資本形成に向けられる経費をいいます。平成24年度は災害公営住宅や下田中学校講堂の建設で大きく伸びたことがわかります。

## 一般会計決算の状況は

# 津波避難タワー建設費を計上

## 全会一致で可決



津波避難タワー建設予定地となる明神山

### ◆一般会計補正予算(第2号)

平成26年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ2億9443万円を増額補正し、予算総額を106億5362万円としました。

歳出の主な内容は、公共施設整備基金積立金5千万円、津波避難タワー工事関連費用約8642万円、甲洋小学校プール解体工事費1767万円などです。

歳入は、前年度の繰越金5669万円、地方交付税1億6567万円を充て、東日本大震災復興交付金基金から4986万円を取り崩すことになりました。

### 津波避難タワー建設工事費・ 施工監理委託料

明神山に津波避難タワーを建設するための工事費8355万円と施工監理委託料287万円が計上されました。

この補正予算案については、県内テレビ局が取材に訪れ、活発な審議状況を取材していました。

工事の完成は、平成28年3月末となる見込みです。

### 津波避難タワー、それでも移転するのか

— 榎山議員 —

**榎山議員** 明神山への移転にあたっては、一般質問でも明神橋を渡ることの危険性を指摘したが、それでも移転する考えか。

あつては、一般質問でも明神橋を渡ることの危険性を指摘したが、それでも移転する考えか。

**榎山議員** 移すにしても地域の住民の安心安全を守るため、一時の猶予もない。完成までのスケジュールを明示せよ。

事業という視点から27年度末がゴール。11月頃には入札を見込んでおり、12月議会で契約議案を提案したい。

**まちづくり防災課長** 災害は姿形を変えてくるため、リスクゼロということにはできないし、私たちが考えるハードですべてをカバーできると思っていない。

地域の力、個人の力、町の力も含めての対策を考えており、指針・マニュアル改正による避難可能距離の拡大、明神橋の耐震化、将来負担の軽減の3点を総合的に検討して判断した。

**町長** 一日でも早く着工して、いつ来るかわからない津波等に備えなければならぬ。来年度に完成させなければならぬので議決していただければ、早速国に申請する。

前進すれば、町民に安心安全を与えることになるだろう。ぜひ明神山への移設をご理解いただきたい。

# 明神山への避難路整備が先ではないのか

— 松林議員 —

**松林議員** 明神山への避難路である生活道路が狭いので、先に避難路の整備を行うべきと思うが、なぜ整備をしないのか。

**まちづくり防災課長** 一緒に整備したかったが、建設する期限が示されているタワーを先に整備して道路は今後検討したい。

# 建設が遅れているのはなぜか

— 馬場議員 —

**馬場議員** 選挙中、前町長が推進する避難タワー建設に反対したため、半年遅れているのではないかと。

また、川口地区住民より先に近くの住民が避難してきた場合、入室を拒否するのか。

**まちづくり防災課長** 先着順で来た場合、どうするかは私たちも想定しなければならぬ。

今後、避難計画をきちんと作って、十分避難できる内容

**町長** 避難路は狭いので、最初から幅も考えている。並行してやらなければならないが、まずは津波避難タワーを建設して、そのあとに道路幅についても考えたい。

財源は、積み立てている復興基金を活用しながら住民が逃げやすいような環境を作らなければならない。

を示し、実動訓練をやり、住民に納得できるように工夫したい。

**町長** 遅くなっているのは事実なので反省したい。行政の継続性があるし、3年近く経ち、国の基準等変化している。それらを踏まえて、どうしたら住民の命を守るか、ベターな方法はなにかということ、一生懸命やってきた。

移設問題についても、国と打ち合わせながら前に進めた経緯もある。

# 特別会計

- ◆ 国民健康保険特別会計（第1号）
  - ◆ 奨学資金貸付事業特別会計（第1号）
  - ◆ 公共下水道事業特別会計（第1号）
  - ◆ 農業集落排水事業特別会計（第1号）
  - ◆ 介護保険特別会計（第1号）
  - ◆ 公共用地取得事業特別会計（第1号）
  - ◆ 後期高齢者医療特別会計（第1号）
  - ◆ 病院事業会計（第1号）
- 医師を目指す学生2名への奨学資金として360万円が追加計上されました。

## 26年度9月補正予算の内容

会 計 別	補正額	補正後の額	歳出の主なもの	
一 般 会 計	2億9443万円	106億5362万円	本庁舎太陽光発電設備工事費 ▲4656万円 津波避難タワー建設工事費 8355万円	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	2268万円	28億3136万円	診療報酬給付費 1545万円 国庫返還金 1447万円
	奨学資金貸付事業特別会計	▲101万円	1626万円	奨学資金貸付金 ▲126万円
	公共下水道事業特別会計	48万円	11億0885万円	馬淵川流域下水道維持管理負担金 28万円
	農業集落排水事業特別会計	116万円	1億2511万円	農業集落排水施設更新工事費 116万円
	介護保険特別会計	3188万円	21億2138万円	支払基金返還金 1182万円
	公共用地取得事業特別会計	—	3906万円	
	後期高齢者医療特別会計	68万円	1億5283万円	後期高齢者医療広域連合納付金 63万円
計	5586万円	63億9786万円		
(公営企業会計)病院事業会計	1297万円	11億2539万円		
収益的収入及び支出	289万円	10億 549万円		
資本的収入及び支出	1008万円	1億1989万円	修学資金貸付金 360万円	
総 計	3億6327万円	181億7687万円		

※数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。



## 町長・副町長・教育長の給料等を改正する 条例案について審議前の撤回を許可

今定例会では、特別職報酬等審議会の答申に基づき、町長・副町長・教育長等三役の給料月額を改正する条例案が提出されましたが、町長から議案撤回の請求がありました。このため、審議のうえ議会はこれを許可しました。

平成22年8月、当時の成田町長の諮問を受けた審議会の答申内容は、当時の三役の給料が30町村中7位であり適正であるとしたものの、町長の公約実現に向けた意思を尊重し、任期満了を期限として10%引き下げるといふものでした。

今回、諮問を受けた審議会では現在の状況を不適正とし、前回の答申による改定前の金額から3%引き下げが適当であると答申しています。

8月26日に開催された議員全員協議会では、この答申内容を反映した条例の改正案に対し、結果的に増額となること、町村の人口規模により給料を比較することについて反対する意見等が出ており、町長はこれらの意見を踏まえ時期尚早と判断し、撤回したものです。

議案の撤回はおいらせ町議会初の出来事となります。

## 字の区域及び 名称の変更

地区住民の利便を図るため、平成26年12月1日から、向山の一部の字の区域を変更し、「向山南」、「向山東四丁目」とします。

## その他の審議案件

### 【報告】

◆平成25年度一般会計継続費精算報告

町勢要覧作成事業の終了に伴い、事業費が約455万円であることが報告されました。

### 【議案】

◆町行政経営推進委員会条例の制定

行政サービスの質の向上と効率的・効果的な行政経営の推進のため、行政経営推進委員会を設置します。

◆町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

幼稚園や保育所、認定こ

ども園などの教育・保育施設の運営基準を定めます。

◆町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

満3歳未満の乳幼児を対象とする家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定めます。

◆町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

いわゆる放課後児童クラブの対象児童を小学1年生から6年生までとするなど、設備や運営に関する基準を定めま

す。

◆町税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、平成27年度以後の年度分の軽自動車税額について定めます。ただし、三輪以上の軽自動車についての新税率は、平成27年4月1日以後に新規登録されたものに適用し、平成27年3月31日以前に新規登録されたものについては、現行税率が適用されます。

また、新規登録から13年を経過した三輪以上の軽自動車

は、平成28年度から重課税率が適用されます。

◆町特定商業集積を構成する商業基盤施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の廃止

法律の廃止に伴い条例も廃止します。

◆中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

法律の改正に伴い関係する条例の規定の改正をします。

◆町公園条例の一部改正

町名整理により、下田公園の位置の名称が変更となります。

## 給料月額の推移

区 分		町 長	副町長	教育長
合併時の給料月額		77.7万円	60.7万円	54.6万円
前回答申以前 (H20年3月から)	増減額	▲3.9万円	▲1.8万円	▲1.6万円
	増減額	▲7.4万円	▲5.9万円	▲5.3万円
現在の給料月額 (H22年10月から)		66.4万円	53.0万円	47.7万円
撤回された改正案		71.5万円	57.1万円	51.4万円
増減額		5.1万円	4.1万円	3.7万円

# 町政を問う

～ ここが聞きたい 一般質問 ～

ページ	質問事項	質問議員
11	1. 津波避難タワーについて	榎山 忠
12	1. 北部地区の下水道整備について 2. 定住促進について 3. 中体連・新人戦のバス借り上げ支援について	松林 義光
13	1. おいらせコールセンター事業について 2. ひとり親世帯対策について 3. おいらせ町の不登校対策について	平野 敏彦
14	1. 学校教育全般にわたってどのように考えているのか 2. 新庁舎建設の進捗状況について 3. 避難タワーの移設に関して	日野口 和子
15	1. 定住促進条例について 2. 甲洋小学校プール廃止について 3. 学校給食方法について	吉村 敏文

※「一般質問」とは、議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことです。年4回の定例会にて行われます。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、スペースの都合上、質問と答弁を要約していますので、本会議場での傍聴をお待ちしております。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ（<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>）で閲覧できます。

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作製しています。

# 一般質問



樋山 忠 議員

**避難タワー建設場所を  
どうしても変更しますか？**

**質問** マニュアル改正を避難タワー建設場所の変更理由としているが、そのマニュアルの発令省庁は。

**町長答弁** 総務省消防庁が平成25年3月に公表した「津波避難対策推進マニュアル検討会報告書」の「市町村における津波避難計画策定指針」を参考としています。

**質問** 川口地区の端の住民で要援護者が明神橋を渡る時間帯を何分頃と想定するか。

**まちづくり防災課長** 懸念されている点は明神橋を渡り切れるかということだと思いません。訓練を通じて時間を示し反省をして周知します。

**質問** 水門は明神橋にとって一番大事と思うが、開閉障害の堆積物除去と操作及び停電時の対処はできているか。

**まちづくり防災課長** 3・11後のしゅんせつ工事は、平成23年度に2回、2100万円を実施され、橋の上流200mまで行いました。

水門は、消防署からの遠隔操作で停電でも対応できるよう改良しているところです。

**質問** 大津波の発生時は震度6ないし7の強震になると思う。また、建物は倒壊または内部は相当被害を受けると思う。

夜間に至っては停電もあり、建物を脱出するまで数十分はかかると思うが。

**まちづくり防災課長** 避難方法と訓練等を通して、町民の命を守るために最大限検証し、避難方法を確立します。

**質問** 避難路途中に漁港入口の防波ゲートがあり、住民は二重の危険場所を通ることになるが、万が一、二次災害が発生したとき、誰が責任を取るのか。

**まちづくり防災課長** 今こ

で返答できませんので、答弁は控えます。

**質問** 明神橋の耐震強化時期とその強度及び橋の高さは。

**町長答弁** 上北地域県民局が管理する橋で、平成28、29年の2力年の工事となり、強度は震度7程度で落橋しない構造です。橋の高さは、車道の高さまで標高約3・4m程度です。



川口地区の交差点。  
正面に明神山、右側に明神橋がある。

**質問** 川口・堀切川両地区の避難対策の考えは。

**町長答弁** 川口地区は、一番近い浸水区域外の高台まで、津波到達時間内に避難できないので、明神山にタワーの建設を計画しました。

堀切川地区は、百石小学校を目指して避難します。

**質問** 川口地区住民への説明会での反応はどうか。

**町長答弁** 驚きや戸惑いもあったが、施設の必要性は理解したと考えます。

**新計画の避難タワーは  
納得いくものですか？**

**質問** 明神山公園に大津波が襲来した際は、どのような状態になるか。

**まちづくり防災課長** 明神山の上を6m以上の津波が通り過ぎることになります。

**質問** 明神山防災センターはどのようなものか。

**まちづくり防災課長** 被害を受けることになりました。

**質問** 明神山公園への避難対象区域と対象人員は。

**町長答弁** 川口、明神下、横道の各地区で、対象人員は3500人です。

**質問** 3500人が対象ならば、1割避難しても350人。3・11では310人の避難実績があるが。

**まちづくり防災課長** 津波警報以下と大津波警報との使い分けをきちんとして避難計画

を作る予定です。

**質問** 計画中のタワーの高さと面積、収容人数は。

**町長答弁** 地盤面から9・8m、面積134㎡、収容人員は134人です。

**質問** 3・11で310人避難しているが、134人の避難で済むのか。

**まちづくり防災課長** 屋上にも避難させると最大268人収容できると考えます。

**質問** 明神山公園周辺の避難道路等、災害予防計画に整合する整備対策があるのか。

**町長答弁** 避難場所まで安全に到達できるよう必要な対策を検討したいと考えます。

**質問** 避難路は幅員8m、道路付近に延焼危険の建物、危険施設がないことを予防計画に記載してあるが。

**まちづくり防災課長** 生活道路の拡幅まで考えていないが、整備については検討課題とします。

# 一般質問



松林 義光 議員

## 北部地区への下水道整備 どのように進めるのか

**質問** 北部地区の人口は今も増え続けており、町の人口に占める比率も36%となっている。しかし、古間木山地区を除き下水道は全く整備されていないのが現状である。早期に下水道整備を進めるべきではないか。

幸い、町長は先の町長選挙で「北部地区の下水道整備事業を前進させる」と公約に掲げている。

どう進めるのか行程を示してほしい。

**町長答弁** 北部地区は町内でも人口が増えている地区で、住環境の整備が必要であるとの考えのもと、選挙公約に北

部地区下水道事業の調査・研究を掲げたところです。

来年度以降のスケジュールを詰め、あわせて新たな手法も含め再検討し、町財政の負担と町民負担も考慮したうえで、現在の事業認可区域整備が終了する29年度を目的に整備の方向性を出したいと考えています。

**質問** 平成29年度には工事に着手するということか。

**町長答弁** 一つの時期に着工ということは現時点では申し上げられませんが、今後、最大限の努力をするということでご理解をいただきたいと思えます。

## 地域の元気再生定住促進に ついて町長の見解を問う

**質問** 地域の元気再生を図る趣旨から、25年12月議会で「地域の元気再生定住促進条例」を賛成多数で可決している。

しかし、町長は下田小・甲洋小2学区に限定することに疑問を持ち、全町を対象とした奨励金制度に改正することを議会に相談もなく町長選挙

で明らかにしている。

このことは議会軽視と思うが、町長の見解を問う。

**町長答弁** 議員の皆様が、定住対策を喫緊の課題と位置づけ、当条例の制定に向け、熟考のうえ、審議、可決いただきましたことに敬意を表するものであり、議会軽視という考えは全く持っていません。

現在、プロジェクトチームを設置し、検討を進めています。たたき台が出来ましたら、議員各位のご意見をお聞きし、具体的な施策を作成していく考えです。

**質問** 都市計画を含め、土地利用の見直しを具体的に着手することのだが、見直し構想を示していただきたい。

**町長答弁** 今年度、土地利用事前調査を行い、現在の土地利用の状況を踏まえたうえで、来年度以降に関係機関との協議及び調整を図りながら「おいらせ町都市計画マスタープラン」策定に向けた取り組みを進めます。

## 中体連・新人戦支援の 考えはないか

**質問** 貸し切りバスの新運賃制度により、今年度は大幅な値上げとなっており、利用者の大きな負担増となっている。そこで保護者負担軽減のため、現在のバス1台から2台に増やす考えはないか。

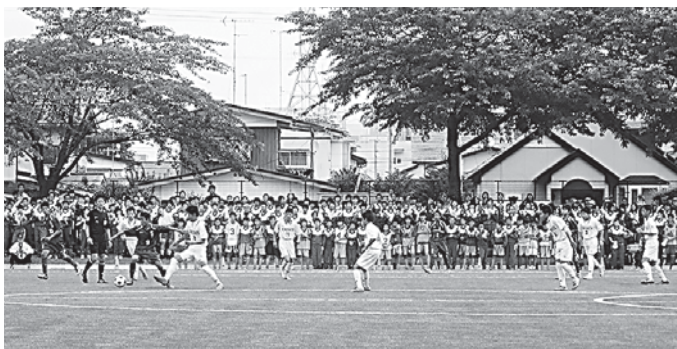
**教育長** スクールバスの有効利用という観点から、来年に向け業務委託内容に中体連や新人戦の運行の追加や関係機関との調整を行い、保護者負

担の軽減に配慮するよう対応していきたいと思えます。

**質問** 中学生の皆さんは、己の技術の向上、そして母校の名譽をかけ頑張っていると思う。私は勝ち進んだことによる全校応援は必要であると思っている。

教育長は、勝ち進むことによる全校応援をどのように思うか。

**教育長** 全校応援は、出場選手心の支えとなり、学校全体の連帯感を高揚させる機会でもあり、さらに学校の士気を高める、そういう点でも大変良いことだと思っております。



大勢の応援を受け、頑張っているサッカー選手

# 一般質問



平野 敏彦 議員

## おいらせコールセンター 現状と将来は

**質問** コールセンター事業の現状について。

**町長答弁** コールセンター事業は本年5月、企業立地に係る基本協定を締結し、5月12日から従業員の募集を開始し、41名を採用。平成27年5月までは、国の緊急雇用対策補助を受けて、オペレーターの人材育成事業を実施しています。**質問** 研修終了後の事業計画と、雇用について。

**町長答弁** 研修終了後の事業運営を考えると、研修期間中から営業活動をして顧客の獲得に努めなければ継続は厳しいと理解しています。  
コールセンター事業は、電話応対をメインとする事業で

すが、企業から委託を受けて行う業務であり確実なパソコンスキルが求められます。インターネット等を活用した、特産品や地場産品の販売等も検討されているようですが、研修終了後の事業計画は提出されていません。

雇用については、正社員・契約社員・パート社員として継続して雇用していくようです。

**質問** 事業の将来性、継続の見通しは。

**町長答弁** コールセンターは、国内で1990年代に急成長し、県内でも2008年頃から新規の立地が増え、今後成長が期待できると見込んでおります。

事業の継続については、今後の事業展開を注意深く見守って参りたいと思っております。

## ひとり親世帯への 対策は

**質問** 町の『子ども貧困率』について。

**町長答弁** 貧困率調査は、国勢調査の客体の中から、無作為抽出した、約4万世帯を対

象に調査しているもので、17歳以下の子供がいる世帯の貧困度合いを、子ども貧困率として国が直接調査し、都道府県や市区町村の貧困率は出ていません。

**質問** ひとり親世帯、母子家庭に対する教育・スポーツ支援について、町独自の対策は。

**町民課長** 現在、子ども・子育て会議を開催し、次年度から10年間の支援計画を練っております。

その中で、町としての方向づけについてを議論する場として、庁内の課長で構成する子ども・子育て会議幹事会を開催することとしています。

**町長答弁** 安倍総理も「子育て支援、貧困率解消をしていきたい」ということが肝いりで表明されており、具体的な国の政策を注視しながら、町独自のものということも含めて、慎重に対応して参りたいと考えております。

**質問** 支援組織の育成について。

**町長答弁** 現在のところ、スポーツ少年団活動においては、各チームで保護者による子どもたちの見守りを行っております。新たな支援組織の育成に

ついて、真剣に研究し、町独自のものができるか検討させていただきます。



ひとり親世帯に対する町の対策は（写真はイメージ）

## 町の不登校児童・生徒 実態と対策は

**質問** 不登校の実態は。

**教育長** 不登校とは、心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、できない状況にあり、年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的理由によるものを除いた者と定義されています。

当町においては、平成25年度は小学校2名、中学校19名でしたが、26年7月現在では小学校は2名、中学校は6名となっております。

**質問** 不登校の対策は。

**教育長** まず不登校の原因ですが、クラスメートのトラブル、部活動のトラブル、学校や先生とのトラブル、学業回避による不登校、成績優秀時による脅迫的な不安、受験や塾通いなどに疲れてしまった、対人恐怖症、両親の不仲とか離婚、青年期に顕在化してくるさまざまな精神障害など、複合的に絡まって発生すると捉えられています。

当町の対策ですが、共同指導体制の確立、教育相談活動の推進、保護者や地域及び関係機関との連携を中心に各学校に指導しています。

学校では、不登校になった児童生徒には、家庭訪問等により保護者と連携し、登校を働きかけるとともに、未然防止、早期発見、早期対応の視点で努力していただいています。

**質問** 不登校児童生徒の確認について。

**教育長** 毎月、長期欠席児童生徒の報告を求め、校長会・教頭会の情報交換で随時確認しています。不登校児童生徒の確認は、先生が家庭に行っている確認しています。

# 一般質問



日野口 和子 議員

## 学校教育全般にわたってどのように考えているのか

**質問** この度、テレビ新聞等に連日のようにいじめや幼児及び児童虐待による殺傷事件や自殺など、目を覆いたくならない事件が相次いで報道され、深く心を痛めております。

残念なことに7月4日、八戸市内の高校に通う女子高校生が死を避けなかった悲しくも痛ましい事件が起きてしまいました。

多感な子ども達の世界は未知数です。いじめは良くないことだと声を大にして言える大人でありたいと強く思っています。この事件を通し、大人こそが大いに反省しなければいけないのではと思っ

ます。生きることを自らに閉じた17歳の高校生が家族や友人たちと積み重ねてきた17年間の思い出を増やすことを閉ざされてしまったのです。

一年生の時からサインを出していたと聞いています。まことに残念かつ無念な思いでいっぱいです。

昨年成立したいじめ防止対策推進法は、いじめを対象者が「心身の苦痛を感じている状態」と定義づけました。その意味を私たち大人は、そして子どもも今一度理解しなければならぬのではと思っ

て町長、教育長の見解を示してください。

**町長答弁** 将来ある若い命を自ら終わらせたこと、大変残念極まりない気持ちでいっぱいです。

**教育長** 大変残念であり、悲しくいたたまれない気持ちです。

**質問** いじめ問題への考えをもう一度示してください。

**教育長** いじめ防止、根絶に向け、学校や保護者、地域社会と連携し継続して取り組みます。

**質問** いじめはなぜあるのか。不登校の生徒数は20数名とのことだが、個々に面談し不登校を解消できないか。

**教育長** 家庭、環境などいろいろなストレスが原因で発散する場所が学校で、自分の存在感を示すためにそついう行為をすることもあります。自己肯定感を育てるよう取り組んでいます

が、大人社会でも存在する社会問題と捉えています。学校では共同指導体制をと

り、どのようにしたら登校させるように支援できるかと、個別に対応しています。

**質問** いじめを学校や社会から無くするため、大人はどのように関わり姿勢を見せることが大事と思うが。

**町長答弁** 子ども社会での陰湿

ないじめは鏡に映った我々大人の姿そのものというのが持論です。

大人社会がそつである限り、子供の社会からはいじめはなくなりません。大人社会が変わる必要があると思っ

**質問** 先生が受験を控えた生徒たちに不適切な発言をしたとの訴えがありました。が認識しているか。

**教育長** そのような事案がある場合には、学校または教育委員会へ直接相談すれば早期には対応できると思っ

## 新庁舎の進捗状況は

**質問** 新庁舎建設の進捗状況は。

**町長答弁** おいらせ町庁舎整備検討委員会から、イオンモール下田周辺との提言をいただいています。都市計画上、現状においては非常に困難なので、町独自の土地利用計画の見直しを進め検討していきます。

## 津波避難タワー建設場所は不適切だったのか

**質問** 避難タワーの移設に関し、前町長の成田氏が進めていた場所はなぜ不適切なのか。

平坦地の人たちの避難をどう考えているのか。

**町長答弁** 不適切な場所という理由で変更するものではありません。

**質問** 首長が変わったとしても前町長の政策の良いところは引き続き継承してゆべきと思っ

**町長答弁** 費用対効果が低いことが設計の過程でわかり、計画位置の変更となりました。

**質問** 中学生までの医療費無料化に心血を注いだ前町長の政策はぜひとも継承していただきたい。できれば高校生までとしていただければいいが。

明神山への避難施設の移設や広さ、道幅は大丈夫か。

**まちづくり防災課長** 明神山が狭いとかタワーを造って窮屈とは理解していません。

# 一般質問



吉村 敏文 議員

## 4月、定住促進条例施行 今後のアクションは

**質問** 定住促進条例を本年4月に施行し、5か月経過したが、反応は。

**町長答弁** 条例について、町内外から各種問い合わせがあります。

8月末現在、助成金の交付申請はありませんが、問い合わせ等で対象となりうる世帯は、下田小学校区2世帯、甲洋小学校区2世帯であります。

**質問** この条例は昨年9月に議決され、私も賛成したが、完璧なものとは思っていない。

よりよい条例にするためには、土地利用の見直し、都市計画の見直しが必要と思うが。

**町長答弁** 今年度、土地利用

事前調査を実施し、集落の特性に応じた土地利用の見直しを進めたいと考えています。

甲洋小学校区では、全区域が市街化調整区域になっており、土地利用の見直しが必要と考えています。

**質問** 町長の公約の中に、「人口定住奨励金条例を拡大する」とあり、小学校区の減少率をあげている。私が議員になった当初から地域の人口減、児童数減について早く歯止めをかけるべきという思いで質問をしてきた。

**町長答弁** 吉村議員が当選以来、土地利用の見直しを叫んでいるのは承知しています。私もずっと疑問を持っており、見直さなければ町の発展はないと考え、県や国にかけ合ったこともあります。

私は土地利用の見直しをこの4年間でやるうと思っております。

**質問** この条例はどのような方法で周知したのか。

**町長答弁** 町広報・ホームページ、県内2紙への掲載、青い森鉄道中吊り広告、不動産等情報誌への掲載、不動産関連業者へのチラシ等PRしました。

**質問** 準備ができ次第、対象地域で説明会を開くと答弁していたが。

**企画財政課長** 今現在、見直しを検討しているため、まだ実施していません。これから実施したいと考えています。

**副町長** 答弁内容が遂行されず非常に申しわけありません。条例は施行されているため、ご指摘のとおりだと思います。速やかに体制を作ります。

## 甲洋小学校プール廃止、 新設する考えはあるのか



甲洋小学校プールの解体と新設の考えはあるのか。

**質問** 甲洋小学校のプールは老朽化により廃止したが、新設する考えはあるか。

**教育長** 現在、甲洋小学校

プールの解体工事の設計をしています。今後のプール建設は、総合的な見地から現在検討しています。

**質問** 前町長るとき、プールが無くなれば海の事故が起きると話をした。解体し、「今から考える」では遅い。

**町長答弁** 夏のプールでの体力向上、健全育成の観点から、なくてはならないものと思っていますので、公約でもプールを作ると約束していますから、作る方向で検討させていただきます。

## 学校給食センター、 いつ実施するのか

**質問** 給食はセンター方式で決定しているが、いつ実施するのか。

**教育長** 建設候補地や建設規模等が決まらず現在に至っていますが、町長の公約でも掲げていますので、平成29年度か30年度を目標に新給食センターを稼働させたいと考えています。

**質問** できるだけ早めに建設することを要望する。  
給食費の収納方式はどのように行うのか。

**教育長** 給食費の収納方式は、現在、旧百石地区の公会計方式と旧下田地区の私会計方式とそれぞれ異なっています。

旧下田地区方式が旧百石地区の学校給食費負担金の収納率を上回っていますので、どちらの方式がよりよい方法なのか検討し、持続可能な学校給食を運営したいと考えています。

**質問** 給食制度存続のため、未納の件は解決しなければならぬ。

合併してから10年経つが、まだ2制度なので、給食センター方式に統一されたら収納方式も統一すべきと考えている。町はどう考えているか。

**学務課長** 現在の学校給食センター方式にあわせて公会計方式がいいのではないかと思います。ただし、給食費のみ引き落とすのか、学校を経由して納めたほうがいいのか、検討したいと思います。

# 議会広報編集調査特別委員会活動報告

## 第80回

### 町村議会広報研修会

7月10日(木)、11日(金)の2日間、東京都千代田区の砂防会館において、全国町村議会議長会主催の町村議会広報研修会が開催されました。

この研修は、議会広報実務担当者を対象にした研修及び意見交換の場を設け、議会広報の発展に資することを目的として、毎年2回ずつ開催されています。

今回は、当町議会広報編集調査特別委員会の高坂隆雄委員長ほか全国から156町村議会の議会広報担当者が参加しました。

研修会1日目は、わかりやすい表現や表記、読まれる議会広報誌の編集の仕方などについて学び、2日目は「議会広報クリニック」として、希望があった32町村議会の広報誌について専門家からのアドバイスをいただきました。

### 町村議会広報研修会

8月28日(木)、青森県共同ビルにおいて、青森県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会が開催され、当町からは榎山忠副委員長と平野敏彦委員が参加しました。

今回は講師に広報・編集コンサルタントの芳野政明氏をお迎えし、「議会報の基本と編集技術」と題して講演をしていただきました。また、お隣の六戸町や五戸町など5町



研修会で講演する芳野政明氏

村の議会広報誌を対象にクリニックが行われ、住民に読まれるための議会広報の作り方について、県内30町村議会の広報編集担当議員にアドバイスをしていました。



聴講する榎山副委員長と平野委員

### 議会傍聴を終えて

一川目保育園  
園長 高谷直子さん



去る9月9日、同業の先輩に誘われ、初めて議会の傍聴をさせていただきました。

役所の中にこんなに静かで厳かな場所があったのかと身の引き締まる思いで傍聴席に着きました。

来年度から大きく変わっていく保育制度。これらについて中身の濃い質疑応答がなされ、議員の方が町をより良いものにしようと日々努力していることが伝わってきました。

これからも一般市民として、もっと積極的に町政に耳を傾け関わっていききたいと思えます。

### 編集後記

「コスト概算金過去最低」。「供給過剰で3200円値下げ」。つがるロマン7600円、まっしぐら7300円……。

黄金色に輝く稲穂に胸を弾ませ、稲刈りに精を出すこの時期に、シヨッキングなマスコミ報道は、今後の町財政に不安を残すものであります。「何か手立てを」と考えたとき、行政と議会が共に協力をして早いうちに何らかの施策を模索し、農家のみならず安心していただくのが先決と、議員一同、心を一つにしているところです。

6月の定例議会から議会傍聴者が多くなってまいりました。これは「ぎかいだより懸橋」をお読みいただき、議会に関心が増したのではと考えて、自画自賛しているところです。今後ともご愛読いただけるよう努力いたします。



副委員長 榎山 忠 記

### 第4回定例会のお知らせ

平成26年12月4日(木)から開会予定

会場は本庁舎3階の議場で、開始時間は原則10時からです。

● 問い合わせ 議会事務局(本庁舎3階)

● 電話 0178(56)2112